

## 林業改良普及双書No.168 獣害対策最前線

◆著者 全国林業改良普及協会 編

／定価 1,155円（本体1,100円）／ISBN 978-4-88138-253-0／体裁 新書判 264頁

## ◆主要目次

鳥獣害対策のポイントを語る＜三浦慎悟＞／前田一步園財団におけるエゾシカ対策の取り組み＜新井田利光＞／西興部村猟区におけるエゾシカ地域管理の取り組み＜伊吾田順平＞／村、協会、研究会が一体になってシカ肉の「ジビエ料理」発信！＜平瀬長安＞／対馬のシカ被害対策－「枝条巻き付け法」に取り組んで＜吉岡信一＞／獣害対策の人づくりとイノシシ肉の商品化＜安田 亮＞／里山整備を通しての総合的な獣害対策＜濱中亮成＞／イヌを使った猿害対策＜坂田宏志＞／クマハギ被害地の特徴と被害軽減方法＜斉藤正一＞



## 林業新知識

山林所有者のみなさんと、ともに歩む月刊誌です。

月刊「林業新知識」は、山林所有者のための雑誌です。全て現場発の情報ですので、机上の理論はありません。林家や現場技術者など、実践者の技術やノウハウを現場で取材し、読者の山林経営や実践に役立つディテール情報が満載。「私も明日からやってみよう」、そんな気持ちを応援します。

後継者の心配、山林経営への理解不足、自然災害の心配、資産価値の維持など、みなさんの課題・疑問をいっしょに考える雑誌です。一人で不安に思うことも、本誌でいっしょに考えれば、いいアイデアも浮かびます。

## ◆山林所有者に向けて

地域を代表する林業家、熱心な林研グループ、定年後に山へ足繁く通う人、山を楽しんで活用している人などを訪ね、経営ノウハウ、施業技術、所有林の活用・デザイン術、後継者に継いでいく家族のドラマなどを紹介しています。

## ◆山仕事の実践者に向けて

自伐林家や現場技術者による、安全で効率よく作業できる実践技術やアイデア、工夫を凝らした道具の使い方、新しい技術などを紹介しています。



### 月刊「林業新知識」でとりあげているテーマ例

#### 【森林所有者の経営について】

##### ●林業人紹介コーナー・「芸技の風」から

- ・「販売力で拓いた枝物経営」…中瀬繁樹さん(和歌山県) 2011年6月号
- ・「現場から拓く！ 天竜林業地の未来」…和田重明さん(静岡県) 2011年2月号
- ・「山に光と活気を！ 道で裏山が蘇る」…安藤忠広さん(高知県) 2010年12月号
- ・「シイタケは原木が命 味でつかんだ固定客」…高橋清次さん(埼玉県) 2010年11月号
- ・「工夫と探求心 自然に学ぶ林業」…荒薦幹雄さん(島根県) 2010年9月号
- ・「雑木や草も宝！ 親子で実直経営」…佐藤 昭さん(栃木県) 2010年6月号
- ・「農林複合経営でこの地を守る！」…岡村良文さん(兵庫県) 2010年5月号

#### 【道具と現場の技について】

##### ●コーナー「道具入門 現場の技」から

- ・「こうすれば裂けない！ 広葉樹の安全な伐り方 1 初級編」…星隆市さん(新潟県) 2011年8月号
- ・「これならできる！ ラクラク積み込み林内作業車」…杉山精一さん(神奈川県) 2011年7月号
- ・「すぐできる！ ノコギリの切れ味復活術」…尾上栄一さん(鹿児島県) 2011年5月号
- ・「年は関係ない！ 体が楽なトビの使い方」…山中宏男さん(高知県) 2011年4月号

◆定価 230円（本体220円） 送料68円  
年間購読料 定価3,560円（税・送料込み）  
／体裁 B5判 24頁

※月刊誌は基本的に年間購読でお願いしています。随時受け付けておりますので、お申し込みの際に何月号から購読ご希望かご指示ください。

研修副読本 月刊誌分野

## 現代林業

分かりづらいテーマを、読者の立場で分かりやすく。  
「そこが知りたい」が読める月刊誌です。

月刊「現代林業」は、「現場主義」をモットーに、林業のトレンドをリードする雑誌として長きにわたり「オピニオン+情報提供」を展開してきました。本誌では、地域レベルでの林業展望、再生産可能な木材の利活用、山村振興をテーマとして、現場取材を通じて新たな林業の視座を追求していきます。基本構成としては以下の通りです。

### ◆特集

タイムリーな時事テーマを取り上げ、山側の視点から丁寧に紹介。最近のテーマでは、「利用の時代の意識改革」「作業道のポイント」「地域の目標林型」「境界確認」「地域材戦略」「カーボン・オフセット」など。

### ◆木材トレンドを読み解く

第一線で活躍する林材ライターによる国産材の流通・加工に関するトレンド情報を紹介

### ◆お役に立ちます！ 最新研究紹介

林業の現場にすぐにでも役立つ最新の研究成果をわかりやすく紹介

### ◆いざ実践！ 森林境界明確化の戦略と戦術

集約化施策など全ての事業の根本になる 境界明確化の極意を伝える

### ◆提案型集約化施策 成功をつかむ実践術

提案型集約化施策のための実践ポイント

### ◆その他連載コーナー

法律相談、お悩み相談、わがまち木造自慢、インフォメーションなど

### ◆定価400円（本体381円） 送料76円

年間購読料 定価5,700円（税・送料込み）

／体裁 A5判 80頁

※月刊誌は基本的に年間購読をお願いしています。随時受け付けておりますので、お申し込みの際に何月号から購読ご希望かご指示ください。



## 月刊「現代林業」でとりあげているテーマ例

### 【特集】ドイツ・フォレスターとの公開討論—将来木施業と森林管理

特集1 日本版「将来木施業」の山づくり（「現代林業」4月号特集1抜粋）  
森林科学者 藤森隆郎

特集2 ドイツ・フォレスターとの公開討論 ドイツから日本へ  
ドイツ・フォレスターによる「将来木施業」の森づくりの提案  
ミヒャエル・ランゲ、カール・コルプ、池田憲昭

私たちは、昨年、実践事業において、宮崎、広島、高知、静岡、北海道の森林を訪問させていただいた。いずれの地域においても非常に感銘を受け「羨ましい」と思ったのが、森林土壌の肥沃さである。そのまま野菜畑や菜園としても使用できるような土壌がほとんどだった。ヨーロッパにはそのような土壌は稀にしかない……。

特集3 ドイツ・フォレスターとの公開討論 日本からドイツへ  
森林生態系の理解と多面的機能の発揮  
森林科学者 藤森隆郎

ランゲ氏らの論文の冒頭に、「日本の森林土壌はその肥沃さと裏腹に崩壊や浸食の影響を受けやすく、作業の難易度が高くコスト高になりやすい。無理にコストを下げようとすると、土壌や残存木にダメージを与え、資産価値も商品価値が下がり、そのためにまたコストを下

げなければならないという悪循環に陥る。逆の発想が必要で、難しい場所ほど価値の高いものを生産しなければならない」と述べられている。これは大事な考えである……。【現代林業】2011年9月号より

### 【特集】林業専用道・森林作業道読み方シリーズ2 これが林業専用道だ！

酒井秀夫 東京大学大学院教授

第1部 「林業専用道」の読み方

第2部 こわれない道づくり—危険地帯を知る

【現代林業】2011年8月号より

### 【特集】再生プラン。私は林業をこうしたいシリーズ2 岡田秀二岩手大学教授に聞く

—地域を活かした経営モデルを創ろう！  
聞き手—赤堀楠雄（林材ライター）

- 再生プランの背景にあるもの
- 再生プランから地域性をどう読み解くか
- 理想のフォレスターを長い目で育てていく発想を
- 地域にあった林業経営モデルを描くことが大切

【現代林業】2011年7月号より

## みんなで議論しよう 日本に必要なフォレスターとは

本誌では、システム林業（林業はシステムとしてこそ成り立つ）をテーマに掲げています。

システムの要素は、

- 面的広がりとの連動—集約化に見られるような地域の取りまとめ、地域的な連携
- 多工程の連動—育苗、路網整備、伐出、造材、加工から物流・商流管理、販売・マーケティングに至る工程間の連動
- 時間軸—目先より長期の視点で最適解（経営成果）を得るための管理計画・生産計画・人材育成・労働力確保などの対策間の連動、と整理します。

それぞれをバラバラにやっていたのではダメ。これら要素間の連動をスムーズに、むだなく最適解を得る生産・経営活動を、システム林業と本誌では呼んでいます。

さて、その実践に必須の人材が、技術も経営も分かる専門家、すなわちフォレスターではないかと私たちは考えます。

### ●フォレスターの仕事例

- ・ドイツでは、営林署の行政官フォレスターは、担当区域（1200～1500ha程度）のあらゆる所有形態の森林を監視・監督したり、私有林については所有者の経営をサポートする業務を行っています。
- ・オーストリアでは、大規模所有者（1000ha以上）にはフォレスターの採用が義務づけられており、フォレスターが直接その森林管理・経営を行っています。
- ・個人の森林所有者への施業支援・経営支援もフォレスターの仕事です。所有林を経営できない個人に代わって、施業から経営すべてを代行するしくみがオーストリア、ドイツにはあり、フォレスターが経営代行を直接行ったり、指揮を採っています（後述）。
- ・アメリカでは、フォレスター資格所有者は、連邦政府（森林局）、州政府林務部局、大学（林業普及）職員として働くほか、数として多いのは森林経営コンサルタント会社や独立コンサルとして、企業（会社有林）、個人所有者の経営を代行しています。ちなみに、企業が直接森林を所有・管理するより森林投資機関（T I M O）や不動産投資信託に売却して管理する方が税制上きわめて有利なことから、こうした森林投資が増加しています。その森林経営を執行するのがフォレスターというわけです。

こうしてみると、森林管理理論・技術だけではなく、経営（経営計画作成から育苗、伐出、販売までの全工程の実践、監督）を実行できるのが、フォレスターに共通しているように思います。

### ●フォレスターの地域性

ドイツの森林管理政策は、国ではなく、州が行っています。行政から独立した営林署で、フォレスターは、転勤することなく長期にわたり（20～30年の例も）、同一地域を担当します。担当地域に居住し、地域に所属する意識をもち、森林所有者の経営成果と直結した仕事を行っています。

経営を実践する自伐林家へはフォレスターがコンサルタントとして直接経営サポート活動を行います。

また、経営を実践できない小規模所有者らが組織する共同体（小規模所有者、自治体等で構成／連邦法規定）、いわば森林組合が全国1600ほどあります。さらに共同体が集まって構成する上部組織として林業連盟があります。これら組織は、路網づくりから、森林整備、伐出、木材販売事業までを所有者に替わって代行する機関です。営林署フォレスターが単位共同体の経営者（理事長）を務めたり（2008年来日したゲアハルト・リーガー氏がその例）、フォレスターが職員として伐出や木材販売の指揮をしている例もあり、その手腕次第で所有者の経営成果が左右されます。

ここではフォレスターは地域レベルでの経営者という面をもち、もはや地域と一体の存在でもあります。

### ●なぜ、信頼されるのか

仮に「フォレスター」を名乗っても、信頼され、管理を任せられたり、指導・アドバイスを求められたりしなければ、フォレスターである意味がありません。

なぜ、上述のフォレスターが信頼されるのでしょうか。

持続可能な森林経営を実行するためにさまざまな規則（伐採、更新など）が定められており、監視・監督をフォレスターが行っています。伐採（ごく小規模の皆伐）はもちろん、作業道を開設するにもフォレスターの許可が必要で、こうした厳しい施業規定制度の番人として、信頼を背負ってフォレスターは仕事しています。

### ●専門家としての能力—技術も経営も分かる

フォレスターがフォレスターであるためのゆえんは、施業技術も経営も分かり、かつ実践能力をもつことでしょう。

森林調査、森林保護、森林計画の作成、経営計画、従事者等労働力の配分計画の作成から現場の施業プラン、作業道のルート選定、工程管理、コスト管理、マーケティング、木材販売といった分野を熟知し、現場で指導できる能力が必須でしょう。

例えば、山へ行き、林分を観察して目標林型を描き、作業システムの良しあしを見極めたり、作業道のルート選定の良しあしを判断でき、生産性ひいてはコストを見極めたアドバイスを現場でできる。そうした実践力を持っていることが一人ひとりのフォレスターに求められています。

外国のフォレスターが日本の山を見た事例では、ドイツ人フォレスターをあげることができます。そこでは、間伐の程度、作業道の良しあし、林業機械選択、作業工程の改良点など、具体的なアドバイスが彼らから次々に出てくるのは、そうした能力を持っているからに他なりません。

技術屋さんの最高峰資格といえ、技術士が思い浮かびますが、そんなイメージではないでしょうか。理論はもちろん実践力をもった専門家である証明が、フォレスターという称号なのでしょう。

現存するフォレスターに共通するのは、

- ・森林管理のさまざまな技術に通じ、
  - ・伐出コスト管理、加工、販売、マーケティング、投資管理など経営の理論・技術をもち、
  - ・森林所有者、現場従事者などを指導できるコミュニケーション能力をもつ、
- といった専門家像です。

### ●フォレスターの活動目的

ドイツのフォレスターは、森林管理政策を執行する州政府の方針にそって仕事をします。その目的は、木材生産および森林生態系のサービス機能を現状どおり維持させていく、すなわち持続可能な実現が最大の目的でしょう。生長量より抑えた伐採量、森林保護、そして森を損なわない伐採方法、路網、林業機械使用への規制、監督を行うフォレスターの眼は、持続可能な維持に他なりません。すなわち、時間軸こそがフォレスターの目標なのです。

米国で、コンサルとして仕事をするフォレスターは、森林所有者の利益の追求が目的です。そこでは時間軸も考慮されます。いっときのみの利益だけで長期の経営成果を上げられないフォレスターは、仕事を失いますから。

林業普及に従事するフォレスター（普及事業の執行機関である大学職員）は、普及事業の政策方針に沿って仕事をします。すなわち、州民の仕事、経営活動がうまく行っこそ（失業者もなく）、州が健全に運営され、税収も安定する、という。したがって、産業政策でも資源政策でもなく、州民一人一人の暮らしを高めることを目的に、林業普及活動が行われます。ここでも、時間軸は長期に設定されています。

■ご注文方法のご案内



オンラインでご注文できます(ホームページより)

オンラインのショッピング・カート(カゴ)でご注文いただけます。下記全林協ホームページのトップ頁より「インターネットショップ森の書店」または「出版物ご購入ガイド」をクリックしご注文ください。ご希望の書籍が見つかったら、画面の上のアイコンをクリックし、カートに入れてご注文ください。カートに入れた商品の削除は自由にできます。折り返しご注文受け取りメールをお送りいたします。

ホームページ <http://www.ringyou.or.jp/>



各都道府県の林業改良普及協会

各都道府県の林業改良普及協会(一部山林協会など)へお申し込みいただくこともできます。



書店からお申し込みできます

■商品のお届けについて

商品は郵便、メール便、宅配便等でお届けします。お届けには1週間程度いただいております。

■代金の支払い方法

代金は本が到着後の後払いです(一般のインターネット書店を除く)。お届けする商品に請求書・郵便局の振込用紙を同封いたします(書籍に同封されていない場合は別送になりますので、前後してお手元に届きます)。郵便振込手数料は当会負担です。



当会(発行所)へ直接ご注文の場合

FAX、お電話、はがきでお申し込みください。書名、冊数、送付先の郵便番号・ご住所・ご氏名(フリガナ)・電話番号、E-mail アドレスをご明記下さい。

**FAX:03-3584-9126** (24時間受付 下記申し込み用紙をご利用ください。)

**TEL:03-3583-8461** (午前9時30分～午後5時30分)

はがき:〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三會堂ビル2階 全国林業改良普及協会



インターネット書店でも購入できます(パンフレットは除く)

- 主な例
- ジュンク堂……………<http://www.junkudo.co.jp/>
  - Amazon……………<http://www.amazon.co.jp/>
  - セブンネットショッピング…<http://www.7netshopping.jp/books/>
  - ブックサービス……………<http://www.bookservice.jp/>

■お問い合わせ・返品・交換について

商品をお届けする際には万全を期しておりますが、万が一汚損・乱丁・落丁などの場合は返品・交換いたしますので下記までご連絡ください。

TEL:03-3583-8461 FAX:03-3584-9126

■メールマガジン

全林協では、新刊情報、好評既刊本のご案内をメールマガジンの形で第1・3火曜日定期的にみなさまに配信しております。ご希望の方は、下記ホームページでメールマガジン登録をクリックしてお申し込み下さい。

<http://www.ringyou.or.jp/>

◆全林協出版物の申込書◆

ご注文専用 **FAX 03-3584-9126**

全国一律送料350円。  
5,000円以上お買上げ  
送料無料。

●代金は後払いです。書籍が到着後、同封または別途お送りする専用郵便振替用紙(手数料無料)でご送金ください。

機関名・部署	(ご担当者)お名前
お届け先 〒 -	<input type="checkbox"/> 公費 <input type="checkbox"/> 私費
TEL ( )	備考
FAX ( )	

出版物名	定価(税込)	数量	小計
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
お申し込み・お問い合わせ先			合計
			円

全国林業改良普及協会(全林協) <http://www.ringyou.or.jp/>

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三會堂ビル **TEL.03-3583-8461 FAX.03-3584-9126**